

C 発掘調査の記録

a 調査工程・計画表と打ち合わせ記録

調査工程・計画表は全体・月間・週間で作成し、PDF データで保管。
週間工程会議や事業者などとの打ち合わせ記録簿も PDF 化。



調査工程表の例

[illegible]

打ち合わせ記録の例

b 調査日誌・各種属性表

調査日誌等はインターネットでの書き込みによる。短期間のときは PDF ファイル。

調査日誌については、Web による入力を実施する場合、電子納品時のフォルダーに格納する必要はない。
また調査日誌の出力が必要となる場合は、愛知県埋蔵文化財センターが出力を行う。

遺構属性表などの最低限必要とする項目は『てびき』発掘編 P.247 に掲載。

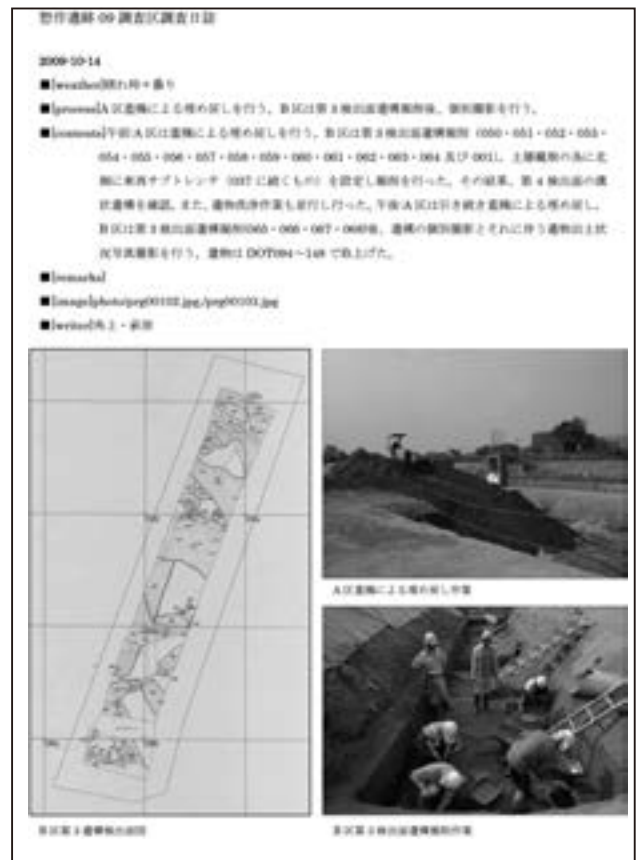
属性表は遺跡の特性に合わせて項目を増やすことができる。

(例：遺構内遺構・重複先後関係・断面図有無など)。

遺物属性表とは、Dot 取り上げ重要遺物の一覧である。



インターネットで書き込む調査日誌



ワープロ・ソフトで作成し PDF 化した調査日誌

↓遺構一覧表

調査区	遺構記号	グリッド	地層	長軸	短軸	深さ	埋土	調査日時	出土遺物	備考	所属遺構	切り合い(古→新)
A	0001SD	1J11f	1面	1.51	0.32	0.04	10YR5/1 褐色灰土	2009-07-07				
A	0002SK	1J12f	1面	0.74	0.67	0.08	N3/0 暗灰色シル	2009-07-07	土器			
A	0003SP	1J11f	1面	-0.23	0.2	0.02	10YR5/1 褐色灰土	2009-07-07				
A	0004SP	1J11f	1面	0.2	0.17	0.04	10YR5/1 褐色灰土	2009-07-07				
A	0005SP	1J11f	1面	0.38	0.3	0.04	10YR5/1 褐色灰土	2009-07-07				

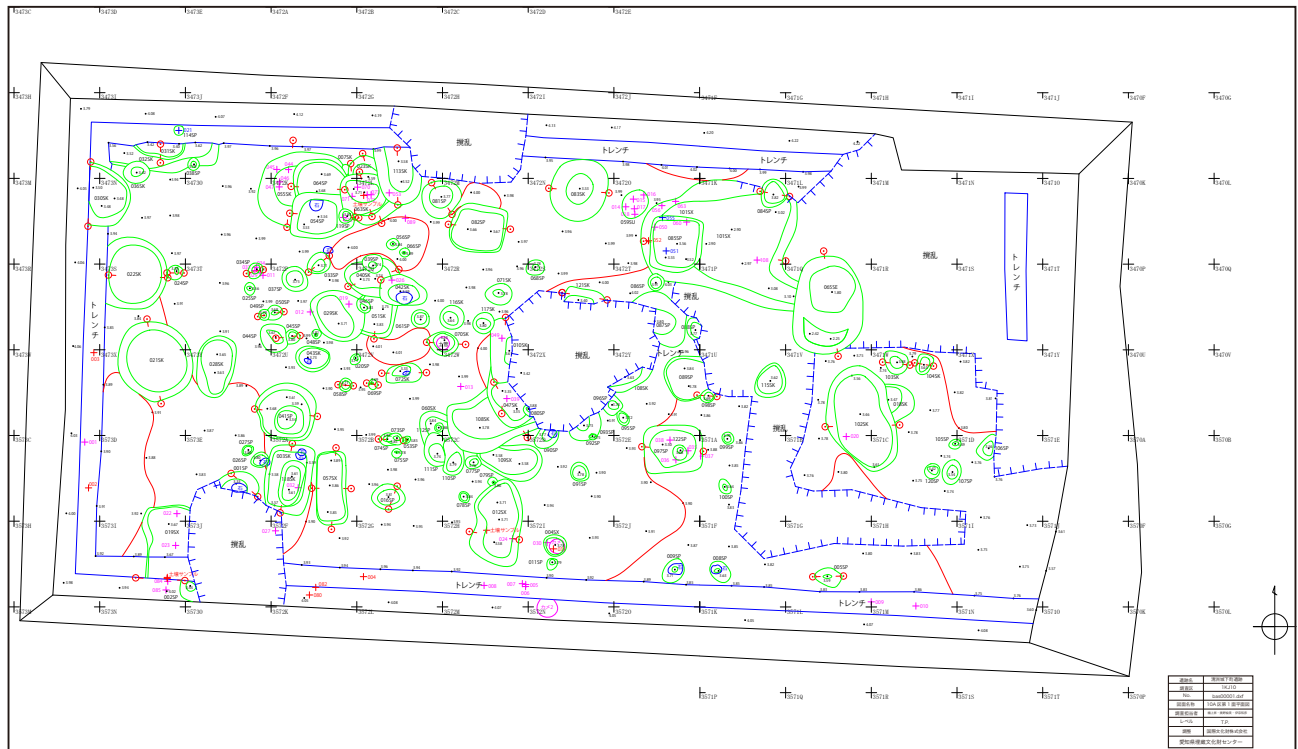
↓遺物一覧表

調査区	番号	種別	X	Y	Z	場所	日時	時期	備考	層位
09A2	1	土器	-85031.583	-37089.697	-0.733	200SD	2009-06-04	弥生中期後葉		層位不明
09A2	2	土器	-85031.563	-37089.808	-0.753	200SD	2009-06-04	弥生中期後葉		層位不明
09A1	3	石器	-85049.298	-37092.005	0.904	検出1	2009-07-09		石鏃	
09A2	4	土器	-85035.984	-37096.269	0.449	200SD	2009-07-23	弥生中期後葉		
09A2	5	石	-85038.644	-37096.464	0.554	200SD	2009-07-24			

c 各種図面

各種遺構図面データは DXF 形式のデジタルデータで保管する。

- 基本平面図（最終的な遺構の位置情報となるもの。グリッド表示が必須）
- 基本断面図（調査区基本土層図。スケール・バー表示が必須）
- 個別補足図（竪穴建物跡・井戸や、遺構内遺構があるなど複雑な状況の場合。平面・断面図・出土状態図を効果的に配置する）。



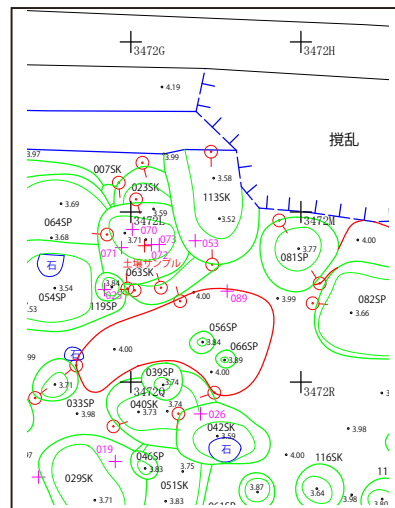
↑基本平面図（分割せず、なるべく1つのデータとして作成）

基本平面図に付すインデックス→

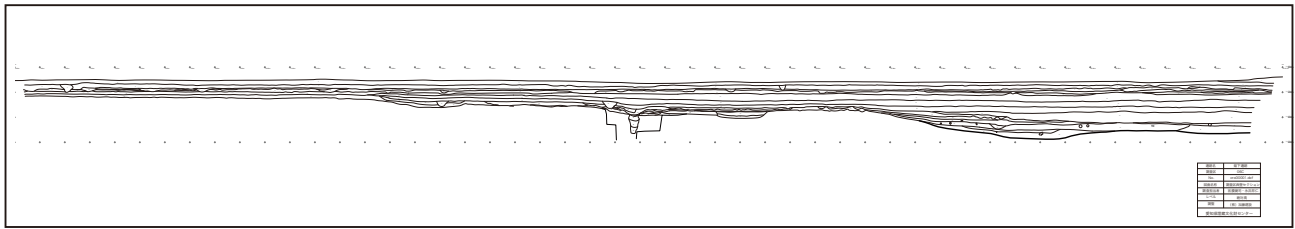
遺跡名	清洲城下町遺跡
調査区	1KJ10
No.	bas00001.dxf
調査名称	10A 区第1面平面図
調査担当者	堀江 孝・奥村 裕美・伊藤 和彦
レベル	T.P.
調整	国際文化財株式会社
愛知県埋蔵文化財センター	

平面図線種・記号の仕様

線 種	
	実線
	破線
	特殊線
記 号	
	メッシュ杭
	セクションポイント
	土器出土地点
	レベル・標高点
	攪乱
	トレンチ
	グリッド



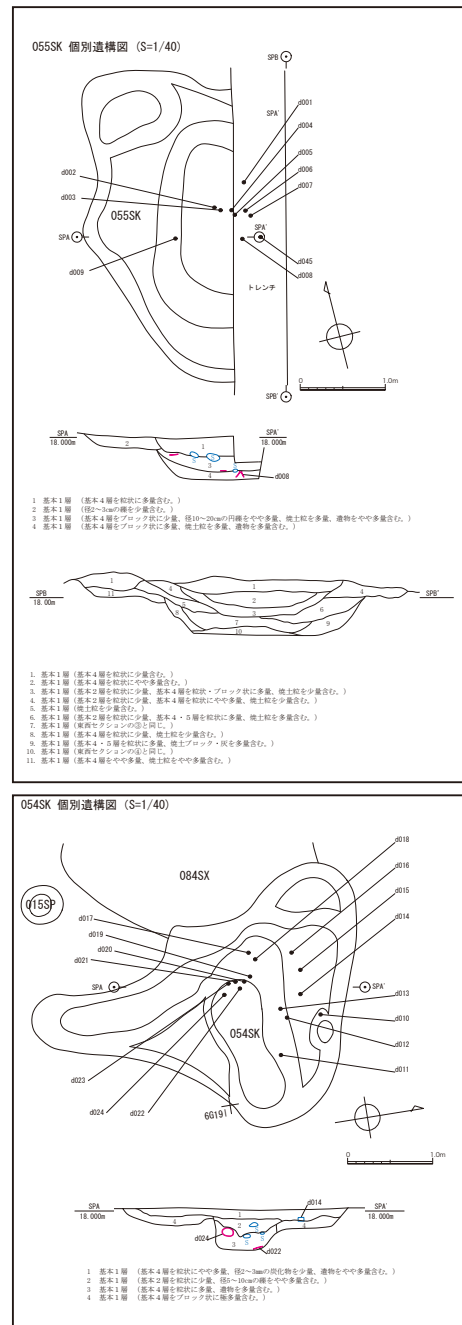
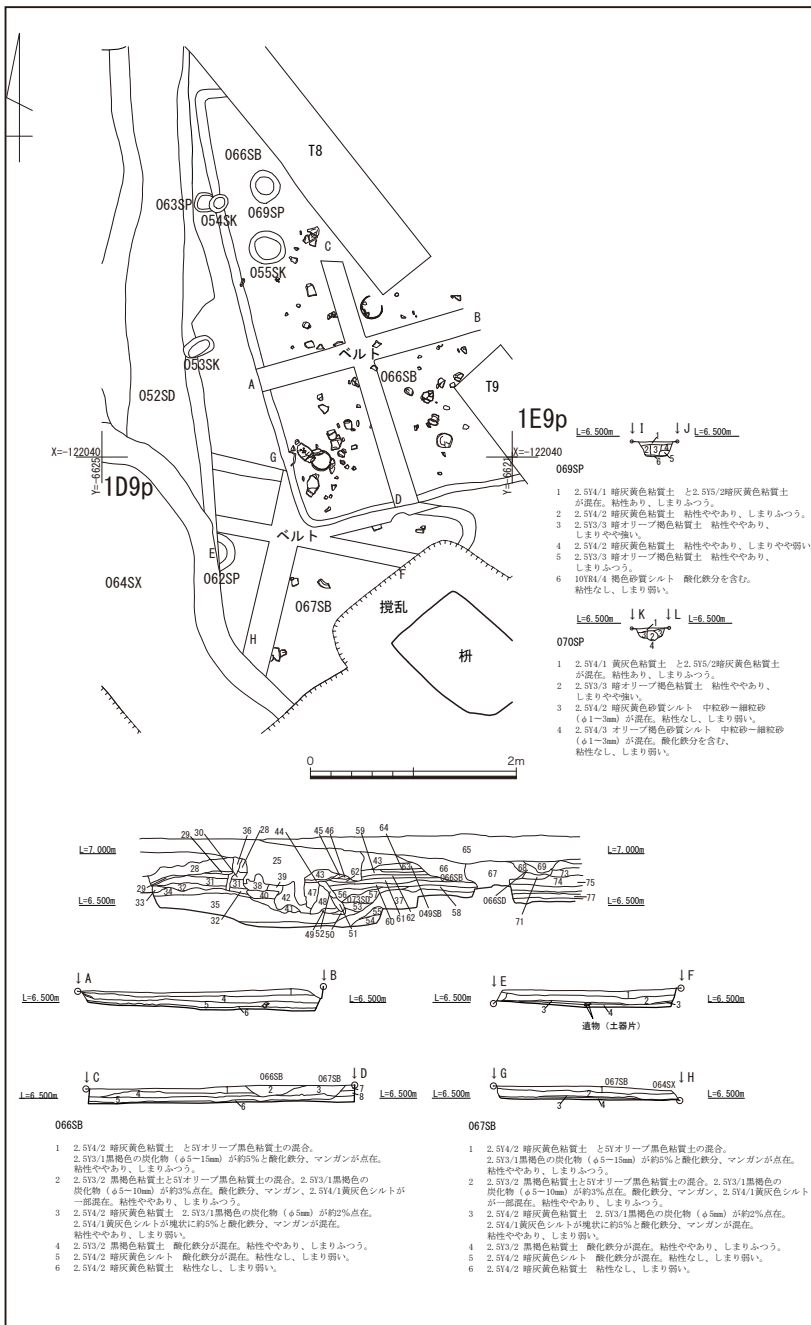
清洲城下町遺跡 10 の遺構平面図



↑基本断面図（平面図同様に分割せず、なるべく1つのデータとして作成）

断面図に付すインデックス→

遺跡名	姫下遺跡
調査区	06C
No.	cro00001.dxf
図面名称	調査区西壁セクション
調査担当者	宮腰健司・永井邦仁
レベル	T.P.
調整	(株)加藤建設
愛知県埋蔵文化財センター	



↑個別補足図（平面図・断面図・出土状態図を1ファイルに配置。
遺物出土地点を表示。なるべく縮尺を統一する。スケール・バーを必ず入れる。）

デジタルマッピングデータ取得仕様一覧

図式分類コード	データタイプ	図式分類名称	色	線種	線号	データ入力仕様
1001	E2	遺構上端	緑	実線	6	遺構の上端を時計回りに取得する
10011	E2	遺構上端（陰線）		実線	6	ベルトの下等、地表面にでていない部分を時計回りに取得する
1002	E2	遺構中端	緑	実線	3	遺構の中端を時計回りに取得する
10021	E2	遺構中端（陰線）		実線	3	ベルトの下等、地表面にでていない部分を時計回りに取得する
1003	E2	遺構下端	緑	実線	2	遺構下端を時計回りに取得する
10031	E2	遺構下端（陰線）		実線	2	ベルトの下等、地表面にでていない部分を時計回りに取得する
2001	E2	石	青	実線	4	石の外周を時計回りに取得する
2002	E2	石（稜線）	青	実線	2	石の形状を表現するための線
2003	E2	木	茶	実線	4	木の外周を時計回りに取得する
2004	E2	木（稜線）	茶	実線	2	木の形状を表現するための線
2005	E2	土器・瓦	ピンク	実線	4	土器の外周を時計回りに取得する
2006	E2	土器・瓦（稜線）	ピンク	実線	2	土器の形状を表現するための線
3001	E2	ベルト	青	実線	2	遺構内部において地層調査のため残した部分
3002	E2	攪乱	青	特殊線	6	攪乱の上場を時計回りに取得する
3003	E2	トレンチ	青	実線	6	トレンチ調査用の溝
3004	E2	調査区	黒	実線	4	調査範囲
3005	E5	メッシュ杭	赤		2	5m座標・シンボルを配置する
3006	E5	セクションポイント	赤		4	座標値入力によりシンボルを配置する
3007	E5・E7	土器出土地点	赤		4	座標値入力によりシンボルを配置し、点名を注記する
4001	E2	等高線（計曲線）	朱	実線	6	主曲線より起算して5本目ごとの主曲線を6号にて表示
40011	E2	等高線（計曲陰線）		実線	6	遺構上端と下端の間は陰線にて図面上には表示しない
4002	E2	等高線（主曲線）	朱	実線	3	平均海面より起算して10cmごとに表示する
40021	E2	等高線（主曲陰線）		実線	3	遺構上端と下端の間は陰線にて取得し図面上には表示しない
4003	E2	等高線（間曲線）	朱	破線	3	主曲線だけでは表現困難な場合、主曲線間隔の1/2にて表示する
40031	E2	等高線（間曲陰線）		破線	3	遺構上端と下端の間は陰線にて取得し図面上には表示しない
4004	E5・E7	レベル（標高点）	黒		4	後に遺構の縦断面図が描けるように表示する
5001	E5・E7	注記（攪乱）	黒		4	攪乱の中央に「攪乱」の表記またはシンボルにて表示する
5002	E5・E7	注記（トレンチ）	黒		4	トレンチ内部に「T」の表記またはシンボルにて表示する
5003	E7	注記（遺構番号）	黒		6	注記にて表示する
5004	E7	等高線数値	黒		4	等高線数値の文字の下はデータを間断しない
6001	E2	整飾（外枠）	黒	実線	10	
6002	E2	整飾（内枠）	黒	実線	3	
6003	E2	グリッド	黒	実線	3	
6004	E7	メッシュ番号	黒		6	
6005	E7	座標値	黒		3	
7001	E2	その他		黒	実線	6

データタイプ

データタイプ	レコードタイプ
面	E1
線	E2
円	E3
円弧	E4
点	E5
方向	E6
注記	E7
属性	E8

線の区分

線号	線の太さ	備考
1号	0.05mm	
2号	0.10mm	
3号	0.15mm	
4号	0.20mm	線の太さの許容誤差は、各
5号	0.25mm	線号を通じて
6号	0.30mm	±0.025mmと
10号	0.50mm	する

注記サイズ

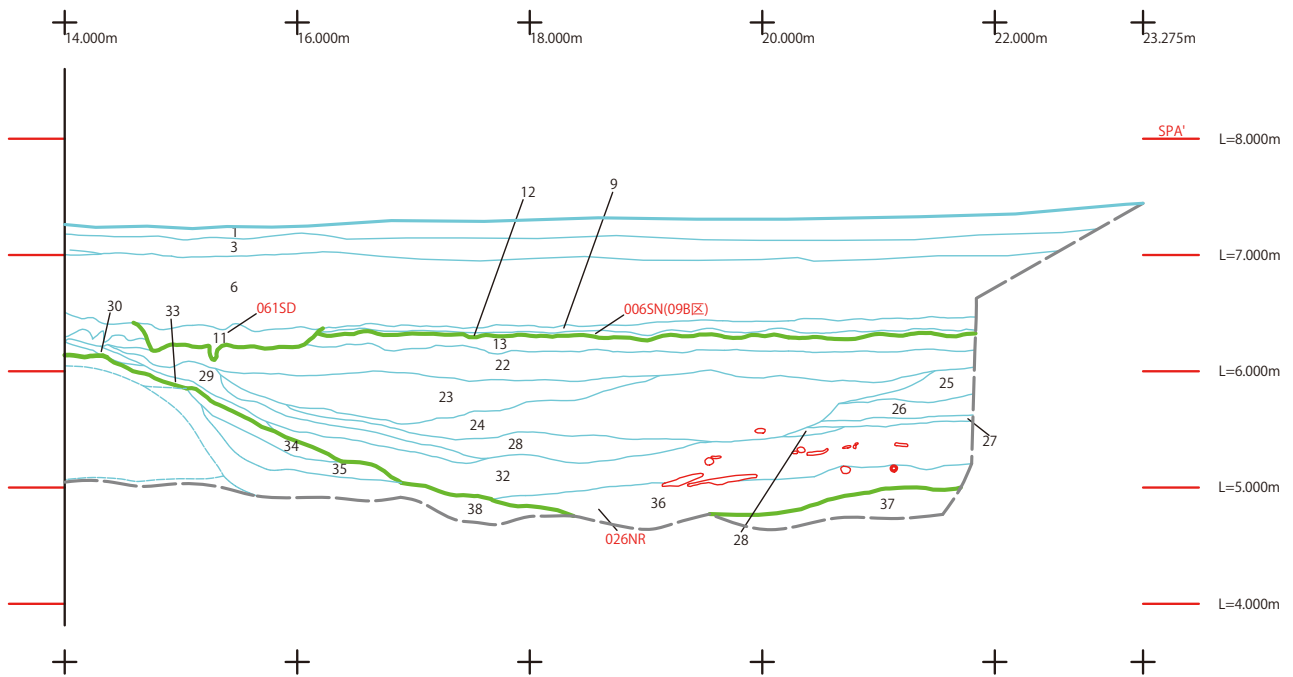
分類コード	表示対象	字大 (mm)	字隔 (mm)
3007	土器出土地点	2.0	0.0
4004	レベル（標高点）	1.5	0.0
5001	攪乱	3.0	3.0
5002	トレンチ	2.0	0.0
5003	遺構番号	2.0	0.0
5004	等高線数値	1.5	0.0
6004	メッシュ番号	4.0	0.0
6005	座標値	1.5	0.0

海拔標高については基本的に
T.P.（東京湾平均海面高度）を使用する

2次元断面図線種・記号の仕様 (Adobe イラストレーターの場合)

2次元断面図 <レイヤー>

- 100: 枠・キャプション 他
- 200: 断面実測線
- 201: レベル・基点と距離など
- 202: 遺構番号
- 300: 層名キャプション (土層説明)
- 301: 層位番号 (図中)



- | | | |
|--------------|---------|---|
| 22. 10YR3/2 | 黒褐色 | 粘土。極細粒砂。炭化物。026NR。NR-1層下部。 |
| 23. 10YR3/1 | 黒褐色 | 粘土。極細粒砂。炭化物。026NR。NR-2a層。 |
| 24. 10YR2/1 | 黒色 | 粘土。炭化物。026NR。NR-2b層。 |
| 25. 10YR2/2 | 黒褐色 | 粘土。極細粒砂。炭化物。026NR。NR-3a層。 |
| 26. 2.5Y3/2 | 黒褐色 | 粘土。5Y7/1灰白色粘土ブロック。植物質(草本類)非常に多い。026NR。NR-3a層。 |
| 27. 2.5Y2/1 | 黒色 | 粘土。5Y5/1灰色粘土ブロック。026NR。NR-3a層。 |
| 28. 5Y3/1 | オリーブ黒色 | 粘土。7.5Y4/1灰色粘土の混土。炭化物。026NR。NR-3a層。 |
| 29. 2.5GY4/1 | 暗オリーブ灰色 | 粘土。10YR2/1黒色粘土の混土。026NR。 |
| 30. 10YR5/1 | 褐灰色 | シルト。5Y5/1灰色粘土の混土。026NR。 |
| 31. 7.5Y6/1 | 灰色 | シルト。5Y5/1灰色粘土の混土。026NR。 |
| 32. 7.5Y4/1 | 灰色 | 粘土。流木。木製品多く出土。炭化物。026NR。NR-3b層。 |
| 33. 10YR4/2 | 灰黄色 | 粘質シルト。026NR。NR-3b層。 |
| 34. 7.5Y4/1 | 灰色 | 極細粒砂。炭化物。 |
| 35. N3/ | 灰色 | 極細粒砂。細粒砂。炭化物。 |
| 36. 5Y3/2 | オリーブ黒色 | 粘質シルト。極細粒砂～細粒砂。026NR。NR-3c層。 |
| 37. 10Y8/1 | 灰白色 | 中礫。炭化物。 |
| 38. 2.5GY4/1 | 暗オリーブ灰色 | 極細粒砂。細礫。炭化物。流木小片あり。 |
| 39. 7.5Y7/1 | 灰白色 | 細粒砂。 |
| 40. 7.5Y7/2 | 灰白色 | 極細粒砂。7.5Y3/2オリーブ黒色極細粒砂とラミナ堆積。植物質若干含む。 |

(記録者 永井邦仁・安生素明)